



文は信なり

日本クリスチャン・ペンクラブ（略称 JCP）発行・責任者 池田勇人
 事務局 〒131-0043 東京都墨田区立花 4-6-13 三浦喜代子方
 TEL&FAX 03-3616-8621 郵便振替 00170-0-161838
 ホームページアドレス・<http://jcp.daa.jp>

夏期学校準備号

主ゆるし給はば

夏期学校参加のススメ

池田勇人

毎年の恒例となっていた夏期学校が、各ブロック主催のセミナーを充実させるべく、中2年・中1年置いてのリズムで、ここ数年実施されています。今夏の次は2012年（JCP60周年）、その次は2015年となります。

各ブロック活動が主体的になされる一方で、その範囲に含まれない方々をどうするか、ホームページ等に関心を持ってくださった方々のフォローをどうするのか、学生や青年達をどう取り込んでいくべきか、課題は多々あります。

とはいえ、今できる事は、私達が一つであることを確認しながら、燃やされてゆくことではないかと考えています。その意味で夏期学校は、3つの出会いを私達に与えてくれると信じます。

第1は、志を同じくする仲間との出会いです。昨年、中田てる子姉が帰天され、今回お会いできないのが残念です。彼女は足の不自由さを託（かこ）つことなく、杖を頼りに軽井沢セミナーまで来てくださったことがありました。弱い人を助けてくださった仲間達がいだったので、彼女は長く参加し続けることができたのでした。友は何にも勝る宝です。JCPの友はまた格別ですね。

第2は、先輩作家達との出会いです。私の夏期学校初参加は、1985年熱海での時でした。『アンデルセンの童話と信仰』の書評を書いて間もなく、著者の横山麗子先生からのお誘いを受けたからでした。

幸いなことに私達の群れには、すぐれた作家の先輩達がいて、後輩達を育てるべく待っていてくれること、何とありがたいことでしょうか。

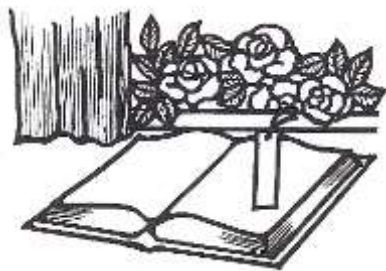
最近の出版物では、『近江の湖畔に在りて』（久保田暁一 だるま書房）、『命をつなぐ250キロメートル』（今関信子 童心社）、『ときには急いで ときにはゆっくり』（川上与志夫 アートヴィレッジ）、『山に向かいて』（長谷川和子 文芸社）、『考えること』（駒田隆 白雲パブリケーションズ）等が、先輩達の作品です。このような作家の息吹に触れられることは、何という励ましでしょうか。

第3に、主催地との出会いがあります。琵琶湖、浜名湖での夏期学校も良い刺激を与えてくれました。

神社仏閣の強い京都に同志社ができたということは、神の特別な計画があったということでしょう。今竜馬ブームですが、近江屋に送り込まれた刺客の一人、今井信郎が後に平岩愼保牧師から洗礼を受けたことや、竜馬の甥直寛が政治活動と共に伝道者として活躍したことなど、興味は尽きません。

会場の関西クリスチャンアカデミーも、また特別な使命を持って作られたとのこと。立場の違う者同士が、平和を求めて学び話し合うためだと。

「主ゆるし給はば、暫く汝らと偕に留まらんことを望む」(「コリント16・7」)
ぜひ、京都の地でお会いしましょう。



★プログラム★

【関西クリスチャンアカデミーにて】

8月4日(水)

13:00受付・チェックイン

13:20-13:30開会の辞 長原武夫氏(関西ブロック)

13:30-14:00 開会礼拝 池田勇人氏

(日本同盟基督教団霞ヶ関キリスト教会牧師・JCP理事長)

14:00-15:30 講演 I 「命をつなぐ250キロメートル」

コメンテーター 小川恵子氏(関西ブロック)・榎 尚子氏(東京ブロック)

藤本優子氏(関西ブロック)

講演 「作品をとおして行き交うもの」

講師 今関信子氏(作家)

15:30-16:20 ティータイム(各ブロック長によるメンバー紹介)

16:30-17:30 証し

「主にありて」 水谷節子氏(中部ブロック)

「今、私は……」 西山純子氏(関東ブロック・理事)

「うつ病を乗り越えて」 坂口良彬氏(中部ブロック・理事)

18:00-18:30夕食

18:40-19:20

賛美とあかし よのひかり氏(ゴスペルミュージシャン)

19:30-21:00 「証し集」出版 司会 原田潔氏(関西ブロック・出版担当)

作品発表 当日出席者

講評 久保田暁一氏(作家・顧問)

8月5日(木)

7:00-7:30 早朝礼拝

玉木 功氏(日本バプテスト連盟東山教会名誉牧師・顧問)

7:30-8:00 朝食

記念写真撮影

9:00-10:00 講演Ⅱ

司会 三浦喜代子氏(作家・事務局長・理事)

講演 「神の平和」

講師 駒田 隆氏(詩人)

10:00-10:30 ティータイム

10:30-11:45 講演Ⅲ 司会 松本瑞江氏(関西ブロック)

講演 「『見はてぬ夢を』

一視覚障がい者の新時代を啓いた左近允孝之進の生涯」をめぐって」

講師 山本優子氏(作家)

11:50-12:20 昼食

12:20-12:40 曼殊院見学

12:30-13:30 賛美と証し

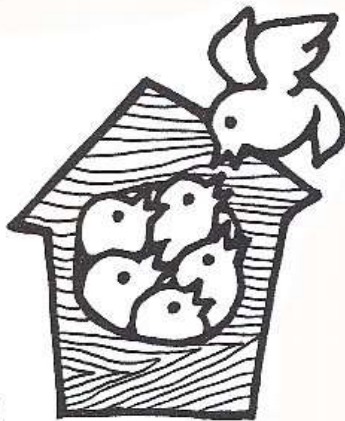
「よりいとのを照らす主の光」三杉富子氏

賛美とあかし 「よりいとの会」メンバー

13:30-14:00 閉会礼拝

川上与志夫氏(帝塚山学院大学名誉教授)

14:00 解散



喜びのおとずれ

大田正紀

日本クリスチャンペンクラブ（JCP）では、5年ぶりで関西ブロックと中部ブロックの共催で、夏期学校を開催することになりました。本年は、「喜びのおとずれ」テーマに、クリスチャンのかたがたの福音との出会いの喜びの証しを伺い、学びの時を持ちます。また、児童文学者の今関信子先生の『命をつなぐ250キロメートル』を巡るシンポジウム・講演会、詩集『神さま』を上梓された駒田隆先生の講演、『見はてぬ夢を』で左近允孝之進の生涯を著した山本優子先生の講演を予定しています。いろいろな分野でキリスト教信仰に堅く立って仕事をなさっておられる先生がたの講演です。そのほかにも、よのひかりさんの賛美とあかし、「よりの会」の青年たちによるあかしと賛美の時も準備しています。本年はこの大会にあわせて「あかし新書」を関西ブロックで編集・発行します。

その講評を作家で顧問の久保田暁先生にお願いすることになっています。原稿のまだお寄せになっておられない方は5月末を目標に受け付けますので、関西ブロック事務局 原田潔氏宛に、至急お寄せください。夏期学校にひとりでも多くのかたがたのご来会をお待ちしています。ふるってご参加ください。

(関西 理事)

関東の皆様 三年振りです

坂口良彬

この度の夏期学校準備は、幹事元でありながら、地元でない辛さを味わっています。これはきつと神さまが共にやらせていただくのをバックアップするという試練を与えられているのだと思っています。

夏期学校というのは、教会のクリスマスのように、一年の成果を持ち寄るところではないでしょうか。参加希望者全員が成果を分かち合って、明日のための第一歩と致しましょう。

(中部事務局 理事)

待っています京都で 長原武夫

八月四日より五日にかけて、JCP全国夏期学校を開催する。主題「喜びのおとずれ」、会場は京都関西セミナーハウス。関西支部では中部支部と共同企画・運営を分担。まずプログラムを準備して、関東支部のペン友の受け入れを始める。関西は太田理事、中部は坂口理事、新しい体制の中で事務局の充実に努める。特に重厚な講師陣の講演に加えて、コメンテーターの役割をペン友で配置する。主の証人として喜びある集いを求める。

(関西事務局)

京都が楽しみ 三浦喜代子

今回の夏期学校は中部・関西が担当してくださると決まって以来、開催地に大きな期待を抱きました。

前回の琵琶湖畔も、その前の浜名湖畔もすてきでした。

京都と聞いて、今までも増して心がとききました。なんと行ってみよびなる京都ですから。

例会や学び会の度にPRし、ぜひ参加しましょうと呼びかけてきました。

正式な案内書が届いたのは5月例会が迫っているときでした。すばらしいタイムイングに驚きました。

いずこも同じで、関東も会員の高齢化が進み、心は熱していても、見送らねばならない方も多いのですが。

故満江巖理事長時代は、毎年熱海が会場でした。四〇〇字一枚の課題文を胸に、はせ参じるのですが、その四〇〇字がいかに重く、押しつぶされそうになりながら、会場までのきつい坂道を登りました。懐かしい思い出です。同感なさる方も多いのではないのでしょうか。

古きと新しきを、体験できる幸いに感謝しつつ、声をかけ合いながら新幹線に乗り込みたいと願っています。どうぞよろしく。

(関東事務局 理事)